



# みなと

みなと 63号 2021年6月1日  
兵庫県声の図書赤十字奉仕団  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-5  
日本赤十字社兵庫県支部内  
(Tel) 078-241-9889 (Fax) 078-241-6990  
代表者 足利教治  
編集者 高橋晶子

昨年度と同様、今年度も新型コロナウイルス感染の緊急事態宣言下での活動開始となりました。この「みなと」が皆さまに届くころは、活動が再開されているでしょうか？

今後 ワクチン接種の浸透等、コロナの情勢も徐々に変化してくると思いますが、慎重に状況を見ながら、安全な声奉活動を進めたいと思います。皆さまのご協力よろしくお願ひします。

## 2021年度本部役員

委員長	足利教治	(はあもにい)	再任
副委員長	中原昌代	(ことばの花束)	新任
副委員長	大下 操	(青年)	再任
会計	新田眞理子	(そよかぜ)	再任
会計監査	与茂田恭子	(こすもす)	新任
書記	高橋晶子	(神戸 YWCA)	再任

## 前本部役員のひとつこと



1年目は何とか少しでも理解できるようにと思いながらの活動でしたが、2年目は想像もしなかった事態となり 足利委員長には日赤支部奉仕課との連絡、連携をはじめ 次々の事態に把握、判断、提案など リーダーシップをとって実行していただきました。 実のところは居るだけの副委員長の役割しか果たせず忸怩たる思いもありますが 他の役員の方々にも助けていただき また足利さんには再度委員長を引き受けていただくことになり感謝以外ありません。 今後も一団員として日赤での活動に協力していきたいと思っております。 よろしくお願ひ致します。

前副委員長 長谷川洋子 (ことばの花束)

総会直前までは、ほぼ平常通りの活動が出来た1年目。学校講習など大変貴重な経験になりました。足利委員長のもと、コロナ状況に向き合いながら最善の活動を模索し続けた2年目。全てに於いて「力を合わせて…」の思いに尽きる、学びの多い貴重な2年間でした。そのなかで、たくさんの方々とお話しする機会に恵まれました。そして常に温かく見守って頂き、ご協力頂きましたこと、本当にありがとうございました。

前会計監査 大林千秋（ともしび）

## 新本部役員のひとこと



委員長(再任) 足利 教治（はあもにい）

平成31年4月、声の奉仕団の委員長に就任、皆様のお力添えやご協力のおかげで2年間務めることが出来ました。しかし終着港と思って着いた港は折り返し点でした。再び終着港を目指して出港することになりました。少しでもリスナーの想いに沿えるように、声奉の活動を進めて行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

リスナーからのお便りや声に励まされ元気をもらって声の図書を作成し聴いていただく立場。声の図書を聴いて生活の中で楽しみや情報を得て活用する立場。リスナー有っての声奉であり声奉有ってのリスナー、立場は変わってもお互い同じグループの仲間と受け止めています。今年も交流会の開催については懸念されるころですが、他にリスナーとの交流の場として声のアルバムの番組作成や、神戸まつりパレード・街頭募金活動等支部行事にも参加して頂くことも考えられると思います。また声奉MLではズームでの交流会開催が話題になっており、一考の必要があると思えます。

新型コロナの影響で、支部の行事がほとんど中止となる中Zoomでの会議が2回ありました。IT（情報技術）は、声奉としてもメールやML、ネット総会、ホームページ、ルームの予約等で活用していますが、将来は声奉独自でレンタルサーバー契約等IT環境を整備し、グループごとのホームページ作成やML結成他に繋げて行けたらと考えています。

私ごとになりますが今年の1月で80歳に到達し、年なりに弱ってきたり痛む個所もありますが、往路の2年間風邪もひかずに務めることが出来ました。復路の2年間も体調の維持管理に努めリタイアすることの無いよう頑張りたいと思えます。行く手にはコロナ対策の荒波が待ち構えています。どんな展開になるか予測できませんが、団員の皆様の重ねてのご協力を頂き、乗り越えて行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

副委員長 中原 昌代（ことばの花束）

声の図書奉仕団に入団し活動を始めてから、もう20年以上になります。その間、運営委員を2期ほどさせていただきましたが、今回、初めて本部役員をさせていただくことになりました。

声奉ではいくつかのグループをまとめて運営していくという大変さがあり、それを今までの役員の方々にお任せしっぱなしでした。感謝しかありません。

昨年からの今まで経験したことのないコロナ禍の中、声奉の活動も見通しが立たない厳しい状況ですが、足利委員長のもと役員みんなで知識を出し、協力し合ってやっていきたいと思います。

お役に立てる自信はありませんが、頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

会計監査 与茂田 恭子（こすもす）

この度、会計監査をお引き受けすることになりました。

なかなか前が見えないコロナ禍のなか、初めての役員になり、右往左往しております。

皆さまのお力添えいただきながら、務めさせていただきたいと存じます。

## 日赤支部奉仕課職員のご挨拶

奉仕課 主事 佐藤由利菜

本年、4月から奉仕課に配属となりました佐藤由利菜と申します。日赤兵庫県支部に入社して7年目となり、これまで、支部の隣にある兵庫県災害医療センターで3年間、支部の振興課で3年間勤務して参りました。

不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、赤十字奉仕団の活動を初め、様々なことを学んでいきたいと思っておりますので、ご指導いただけますと幸いです。よろしく願いいたします。





左から、宮浦主事、佐藤主事、山本事業部長、岡本奉仕課長、渡邊青少年係長

## デイジー班



2021年度初めての、機関誌“みなと”への寄稿を依頼され、困惑してしまいましたが、この気持ちは、きっと他の寄稿者の皆さんも同じようなものだと思います。昨年度「日赤声のアルバム」は、コロナ禍の中、結局9月号と11月号のたった2冊しか発行できなかったのですから。一体何を書けばよいのやら…。

デイジー班マザーチームとしては、声のアルバム発行に向けて毎回総合案内の巻頭にコロナ対応の言葉を入れ、録音・再録音でアタフタし、作業形態も三密を避けるために2グループで行う事とし、9月・11月、久しぶりに何とか皆で顔を合わせて作業できた時には、とても感慨深かったです。

声のアルバム総合案内は、これまでマザーチームが責任担当してきましたが、今後は、1年ずつのグループ持ち回りで文章内容と録音編集、各PC貼付けまでお任せするようになりました。2021年度はそよかぜグループさんが既にきちんと対処して下さっています。更に、コロナ対応の言葉は、必要であれば各タイトルにて入れて頂く事にもなりましたので、総合案内でその都度変更しなくてよくなり、大いに助かります。

他には、あるリスナーからの要望により、声のアルバム過去5年間のバックナンバー、他等を足利委員長とデイジー班の石田さんとで、マザーチーム用PCに保存していたデータやまとめのCDから、USBメモリに移す作業を多大な時間をかけてして下さいました。そして今年度に入っても、未だ声のアルバムは発行できる状態にはならず、今に至っています。

自粛生活の日常は、フレイル予防にウォーキング散歩を日課にしていますが、季節の眩いばかりの移り変わりが如実に五感を通して感じられます。それはまるで、人間たちのコロナウィルスによる右往左往とは全く関係なく！この小文が掲載される頃には、更に季節が進んでいる事でしょう。

4月半ばに1冊の単行図書を録音し終えたばかりですが、その後書がとても感慨深いものでした。長いシリーズの最終巻で、2011年3月22日千葉県我孫子で強い余震を感じながら実感を込めて書かれたものです。

この物語や他の作品で作者が書きたかったことは、森羅万象すべてが、ただ「在る」だけの世界なのです。その中に人間も、天災も、疫病も、同等に「在る」。天から俯瞰すれば、すべては在るだけ。しかし、地に生きる人間は、その「在ること」に意味をつけ、感情を動かされ、懸命に対処してゆかずにはられません。現在の状況にリンクしている、と感じてしまいました。

最後に、この困難な時期に、役員、運営委員、他それぞれの責務を担っていらっしゃる方々、これから担って下さる方々に、深く感謝いたします。

直田花子(青年)

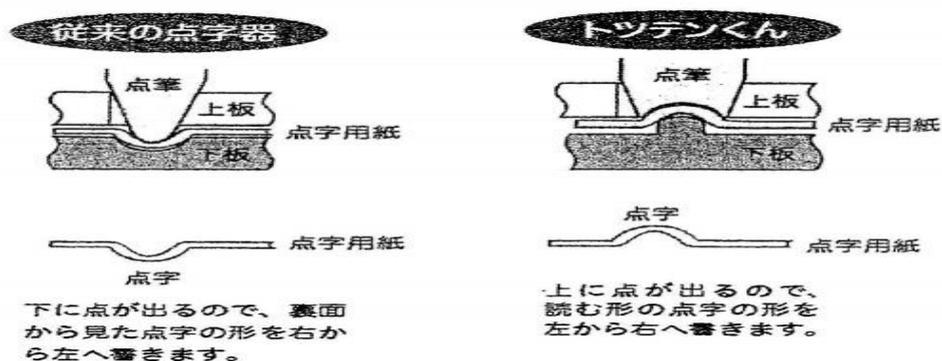
## 点字班



皆様こんにちは、お変わりございませんか。コロナ禍の中、点字班も昨年度は学校講習や図書目録作成の中止等、活動が停止した状態でした。それでも今年度は、デイジー図書目録の点字版を6月に発送しようとして取り組んでいましたが、再度の緊急事態宣言で発送を延期せざるを得なくなりました。単行図書を楽しみにされているリスナーさんもおられます。点字版の図書目録を利用して様々な作品を聞いて頂きたいと思えます。

10月は、地域赤十字奉仕団の点字講習会を予定しています。このような状況なので支部はZoomでの実施を考えておられます。地域奉仕団の方々に理解して頂けるにはどのような工夫が必要なのか、これから支部とも話し合っています。点字班メンバーも地域奉仕団との交流を楽しみにしております。

また、昨年度「トツテンくん」という点字器を購入して頂きました。



前ページの図を比べて頂くと、従来の点字器と大きく異なる事にお気づきとと思います。凸で点字を書きます。読む点字で書くのです。点字は書く文字と読む文字と両方覚えなければなりません。途中で視覚障害になり点字は難しいからとあきらめた方や、小・中・高校・大学で初めて学習する人たちにも覚えやすいようにと、凸の点字器が開発されました。Lサイズで大きめですので触読の勉強にも適しているそうです。

6点の一マスが大きいので書きやすいですよ。皆様も「トツテンくん」を使って点字を書いてみませんか。定例会は毎月第2火曜日 10時からです。今年度もよろしく願いいたします。

門田真弓美（ことばの花束）

## 朗読・音訳を見直す会



昨年からのコロナ禍で自粛が続き、朗読ボランティア活動も制限されました。しかし第3波が落ち着いた3月中旬、朗読・音訳を見直す会は1年ぶりに顔を合わせての例会を持つことが出来ました。感染防止をしながら日赤ボランティアルームで懸案事項のPHPの事や読み方について話し合い（欠席者には協議内容が事前に通知されていて意見等が反映され）全てスムーズに決まりました。主な事柄は次の通りです。

- ・ PHP 2021年度は2年に一度のシャッフル年に当たるため、読む箇所を入れ替える
- ・ 「声のアルバム」発刊が不定期のため、PHPの新しい箇所に替わるのは2021年7月号から2023年5月号までとなる（割振り表は運営委員会で配布する）
- ・ PHP割振り担当のグループは、7月号よりことばの花束から青年グループに代わる
- ・ 目次項目の変更と追加は、「No.5 これって正しい？マナーのツボ」と「No.7 なるほど！日本語術」で、神戸YWCAが担当となる
- ・ 代表や新旧メンバーの選出と交代（旧メンバーはアドバイザーとして在籍）

なお、読み方については、最後の「ことばの探偵局」で述べさせていただきます。

さて私事ですが、コロナ禍で人々の触れ合いが難しくなっている昨今、朗読のボランティア活動で触れ合え通じ合えた日々が、懐かしく思い出されます。

30年前に東京で朗読ボランティアという活動を知り、「やってみたい！」と、朗読やガイドヘルプについて学び始めました。神戸へ転居後も市民福祉人材センターの朗読ボランティア入門講座に入り学習しました。すぐれた講師やいい仲間、そして活動的な目のご不自由な方々と知り合うことができ、たくさんの貴重な体験をさせていただきました。

目のご不自由な方との思い出の一つは、生け花を習われている日赤の利用者さん、その方の華道教室へ仲間と供に伺い、取材をさせて頂けたことです。

生け花は、花の香りや手の触感から花木を感じ、先生の説明を聞きながら想像力を働かせて無心に生けていく、その姿にとっても感動しました。先生やほかの生徒さん達も和やかな雰囲気でお稽古されていて、こちらと一緒に習いたくなりました。終われば、みんなとの楽しいおしゃべりタイムです。

もう一人の方は、ソプラノの歌手である利用者さんで、自分が歌うことで人に勇気を与えることが出来ると、教会やご自身のリサイタルで一所懸命に歌われ活躍されている姿に共感と感動を覚えました。私も何かお手伝いできる事ほど、司会を務めさせていただきます。司会は朗読と異なりますが、伝えようとするのは同じで大変いい勉強になりました。今もお付き合いは続いていて、コロナ禍が早く収束し、美しい歌声を存分に披露してもらいたいと願っています。

また、日赤活動の中で強く印象に残っていることがあります。それは声の図書奉仕団員の元委員長さんが言われたことです。神奈川ライトセンターへ見学に行った時、「録音室や機材の設備はもちろん大事だけれど、利用者さんにとって聴きやすい録音制作には、校正という機関が重要です」と言われたことです。私はその通りだと思い、「声の図書制作テープを考える会」発足時から校正の大切さを常に心にとめ、今も模索中です。「朗読・音訳を見直す会」が、新メンバーやアドバイザーと共に、利用者の方々に聴きやすい録音図書を制作する一翼を担うことが出来ればよいと考えています。

これからも新型コロナに伴う活動の規制は続きますが、体力気力を保ちながら声の図書奉仕団員として皆さんと早く活動できる日を願っています。

## 「ことばの探偵局」



### ○(笑)と書かれている文章をどう読むか

それについては、「朗読・音訳を見直す会だより第4号の(2)」に

記載されています。しかし笑いは、冷笑・嘲笑・失笑・苦笑・爆笑など沢山あります。

爆笑の文章であれば、口角を上げて読むと明るく笑った感じが出ますが、冷笑などの意味が入った文章は読みで表現する事は難しく、その場合は本文に少し間をとり、カッコワライと読むのが適切かと思われれます。

### ○単行図書の校正から

「母子、父子」を「親子オヤコ」と言い替えて読むのはどうか。

やはり辞書に書かれている通り「ボシ・ハハコ、フシ」と読む方が好ましい。また「姉妹、弟妹」も「兄弟キヨウダイ」と読まず、「シマイ、テイマイ」と読んでいただきたい。単行図書は、「著作権法20条 同一性保持権」を守り、著者の文章を読み替えず、そのまま読むことが大切です。

○PHP誌は、中身のジャンルが様々で、プロアマが入り混じった文章の月刊誌です。同一性保持権を意識しながら、工夫した読みが必要だと考えられます。

### ○動詞の活用形について

「美しい日本語」に活用の事例が出ていて分かり易く、「NHK 日本語発音アクセント新辞典」の付録解説・資料編にも分かりやすく書かれています。

ぜひ参考にしてください。

三木京子（ことばの花束）

## 単行図書検討会



### 2020年度 単行図書貸し出しランキング表

2020.04.01～2021.03.31

順位	書名	著者名	貸し出し開始日	回数
1	一切なりゆき ～樹木希林のことば～	樹木 希林	2020.02.20	16
2	平場の月	朝倉 かすみ	2020.07.30	14
3	あずかりやさん 桐島くんの青春	大山 淳子	2020.02.06	11
4	季節風 夏	重松 清	2020.08.21	10
	花になるらん	玉岡 かおる	2020.10.22	10
6	あずかりやさん	大山 淳子	2019.04.25	9
	「イイミ」2020年6月号	神戸新聞社	2020.07.22	9
	さざなみによる	木皿 泉	2019.02.21	9
	旅猫レポート	有川 浩	2017.09.14	9
	旅ドロップ	江國 香織	2020.07.02	9
	旅のつばくろ	沢木 耕太郎	2020.10.29	9
12	「イイミ」2020年5月号	神戸新聞社	2020.06.25	8
	「イイミ」2020年7月号	神戸新聞社	2020.08.21	8
	1日10分のしあわせ NHK 国際放送が選んだ日本の名作	朝井リョウ 他7名	2020.10.22	8
	日日是好日	森下 典子	2020.10.22	8
	はなとゆめ	沖方 丁	2018.04.16	8
	ワンダー	R.Jパラシオ作 中井はるの訳	2019.11.25	8

延べ貸し出し数 680冊 (昨年度 501冊)

昨年度はコロナ禍で思うように活動ができない中でしたが、皆様に新刊図書の録音、制作にご協力いただき、新刊図書も21冊完成いたしました。それに伴ってと、リスナーの方々も自宅で過ごされる時間が多くなったこともあり、去年は発受作業ができない時期もあったにもかかわらず、大幅に図書の貸し出し数が増えました。このコロナ禍の中、リスナーの方々楽しんで聞いてくださることは私たちの励みになります。まだまだ、元のような活動ができそうにありませんが、できる範囲でのご協力をいただけますよう、よろしく願いいたします。

中原昌代（ことばの花束）

## ゆうゆう会



団員の高齢化による退団者を食い止める策として話し合いを重ね、発足した会ですが、未だ長引くコロナ禍で通常活動が出来ず、自粛生活が続いています。買い物も近場で済ませ、地域の活動も最小限に留めた生活が続きますと、若い方はストレスが溜まるでしょうが、私共高齢者はそれが当たり前になってしまいます。体力の衰えと共に気力も失せ「声奉引退」が頭を過ります。が、若い方と同じペースでは作業をこなせなくても、パソコンを使いこなせなくても、ページー発送、自宅での一次校正、学校講習時の手伝い等、今までの経験を生かして声奉の活動を何か手伝いしましょう。団員数が減少すれば助成金も減額されます。声奉の運営を円滑にするため、退団が頭を過った時、今一度思い留まって「ゆうゆう会」への参加をお願い致します。80歳になったら「ゆうゆう会」へ移行と云う声もありますが、個人差もありコロナ禍終息後にゆっくり話し合いの機会を持ちたいと思います。

田邊依子（ともしび）

## プログラム紹介 「あじさい」

（青年グループ）

1994年創刊の「あじさい」は、新聞の全国紙、地方紙の記事をピックアップしています。

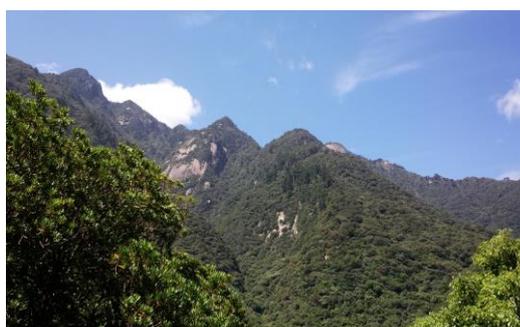
作成手順は、

- ①青年グループのメンバーが各自購読の新聞から、高齢者・健康・生活・社会等に関する記事、楽しいコラムなど、この記事が良いのではと選んだ切り抜きを編集担当者へ郵送したり、例会に持ち寄ります。
- ②集まった記事を、例会出席のメンバーで選択します。この作業は、自宅購読紙以外の記事にこんなのが載ってるんだ、知らないことだったなあなど色々思えることがあります、楽しい場です。

- ③選択した記事は編集担当者が持ち帰り、複数の新聞からおおよそ60分以内で、かつ話題が偏らないように再度選択します。
- ④編集担当者は、記事が決まったら並び順などの目次を作り、読み担当者を決め、PDF化した記事を各読み担当者にメールなどで送ります。
- ⑤読み担当者は、自宅またはスタジオで録音します。読み方や内容など色々と調べる事が多く、勉強になっています。
- ⑥第三水曜日のあじさい勉強会に、録音した音声を小石則子先生と出席しているメンバーで聴き、誤読や解り難い所などをチェックしながら、先生から「リスナーに伝わる読み」を徹底して指導を受け、内容を把握する大切さを教わります。
- ⑦勉強会が終わった後、編集担当者は記事の音声に、記事の紹介・目次・初めの挨拶・終わりの挨拶・音楽を入れるなど、多くの作業を行います。

#### あじさい 2020年11月号 プログラム

	新聞	題 名	分	秒
1	神戸	飲む美肌ケア浸透中	3	20
2	日経	カラダづくりーかすれ声は老化のサイン 歌って声帯を鍛えよう	5	50
3	朝日	元気にキレイにー一首を支えてぐっすり快眠	5	50
4	毎日	食品ごみを容器に再生	4	30
5	朝日	キウイ輸入量 2年連続過去最高	2	50
6	神戸	消毒で手荒れ 重症化を懸念	3	0
7	日経	100%植物由来のパン 思いぎっしり	6	30
8	神戸	「野菜の王様」ケールに注目	2	50
9	朝日新聞 グローブ	マイケル・ブースの世界を食べるーポルトガルにチョコありタルトにワインも新発見	5	30
10	神戸	セイコー、目の不自由な人向け「触読式」腕時計を25年ぶりに刷新	2	10
11	神戸	スキンプレイル 早期発見をー加齢で皮膚が脆弱に	5	10
12	朝日	長谷川義史の作家の口福ーますの寿司	3	30
13	神戸	ヒットのヒントーキューピー「深煎りごまドレッシング」	2	0



## プログラム紹介 「やまなみ」

(青年グループ)

「やまなみ」は「あじさい」よりも古く 1965 年創刊、夜のグループ時代から発行、大ブースで会話を収録しながら録音音声を挟んでいくのが特徴です。こちらは、テーマを決めて一話完結の続き物形式や、録音機器を持ってインタビューに行く『訪れてシリーズ』などです。

作成手順は、

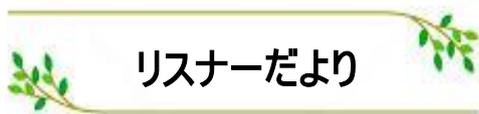
- ①シリーズとなるテーマは、メンバーから募集します。世界の旅シリーズは、もう 300 回以上続いているロングランです。内容は、本・雑誌・新聞連載など多種多様です。
- ②テーマが決まると、シリーズを通して読みを担当するのか月替わりでの読みなのか、担当者を決めます。
- ③読み担当者は、自宅やスタジオで録音し、ボランティアルームの PC に納めます。校正する場合は、第二水曜日の PHP 勉強会に、録音した音声を小石則子先生と出席しているメンバーで聴きます。
- ④スタジオのミキサー担当者は、スタジオ収録時の進行案を作成します。話題にする話は何を？内容は？と悩むところです。コロナの影響で 2020 年 11 月号になりましたが、4 月号の話題はマスクでした。
- ⑤ミキサー担当者、ナレーター担当者、参加メンバーがスタジオに集まり、ナレーター担当者が初めの挨拶・目次・録音音声の前に記事の紹介・終わりの挨拶をします。参加メンバーでの会話は、初めの挨拶の後や録音した音声を聴きながら、番組内容が終わった後のおしゃべりを収録します。  
対話形式の録音に初めて参加したときはなかなか声が出ず、うなずくだけになったり、冷や汗ものでした。  
また、関西版お茶の間のおしゃべりは雰囲気伝わって親しみやすいという感想を頂きましたが、関西弁でおしゃべりが挿入されるのは違和感があったとの感想もあり、難しいものです。
- ⑥当初は、全ての作品がオープンリール。1973 年からカセット化しましたが、それでも完成品としての制作が必要でした。番組構成は表面・裏面の時間調整から組み立てます。収録中も会話の訂正・BGMの再調整など、やり直しは最初に戻っての作業と手間がかかっていました。今は収録済みの内容とは別に、挨拶やつなぎの話、案内などを MD に収録。修正やその部分を再収録しても繋ぎ合わせる処理ができ、制作時間は短縮しました。しかし、その分「CD 盤」を制作するための編集が残ることになります。

詳しい歴史については、みなと 56 号（2018 年 12 月 1 日）グループ紹介「青年グループ」をご覧ください。

2020 年、2021 年の現在は、コロナ禍のため勉強会や「やまなみ」のスタジオ収録ができない状態ですが、コロナ収束後に再開できることを願っています。

	題 名	分
	イントロ	4
1	世界の旅 第322回 「バティックに秘められたジャワ島の歴史を訪ねて」	15
2	関西遺産 第19回 「神戸人形」	5
3	訪れてシリーズ 第10回 「人と未来防災センター」	14
4	高田守の生き物たちの不思議発見 第19回「(番外編) 誰がために花は咲く」	7
5	お宝発見 ご当地食 第7回 「はらこ飯、みそポテト、サラダホープ、温泉とうふ」	7
6	故郷の風景 第19回 「甘味源」	3

坂本 雪枝 (青年)



## リスナーだより



岸田洋子さん 2020.11.17

こんにちは、皆様ありがとうございます。どのコーナーも心をうたれる内容ばかりで、ためになる内容ばかりでこんなに私たちのことを理解してくださっての内容ばかりでして 感謝の気持ちでいっぱいです。大変でしたでしょうねと思わしていただきます。

(中略)

コロナでご無理のないようまたお待ちしております。

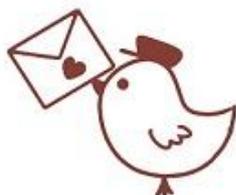
牧野マリエさん (声のアルバム9月号お便り)

こんにちは やっと秋らしくなりました。いつも盛り沢山の記事を音訳していただきありがとうございます。コロナ禍でのCD作成も本当に大変な事と思います。

(中略)

9月号で終わられる「雪」も有難い内容でした。9月号で一番関心を持ったのは 小林一三の阪急電鉄創設でした。私の郷里は倉吉に 昭和の始めから何年か運転士として働かれたおじさんがおられたのを思い出しました。

(後略)



リスナーさんからのお便り もっと沢山届いていると思いますが、日赤へ行くことができず、確認できていません。

活動が再開されましたら、ボランティアルームのホワイトボードに掲示しますので、ご覧ください。

## メーリングリストより

### ●声のアルバム 5月号休刊について

みなさま、こんにちは。  
かわかみゆうこです。  
ごれんらくをいただき、  
ありがとうございます。  
コロナが、ひどくなりますし、しかたないですねえ。はやく、ワクチン、まちどしいですが、わたしたちの、ねんだいは、さいごのほうに、なるでしょうねえ。ひととひとが、あえませんし、ガイシュツは、おもうように、できませんし、ストレスが、たまりがちですが、ほかの、たのしいこと、けいかくしたり、きをまぎらわしています。  
こえの、アルバムですが、こうべてんじとしよかんのように、テキストデিজリーにさせていただくのは、むりなのでしょうか？  
すみません。コロナで、みなさん、たいへんなのに。

(大阪市・田邊さんより)

わかりました、ほんとうに、コロナのかんせんは、ひろがりつつあり、ふあんは、つのるばかりです。マスクや、消毒など、防御は、していますが、もうひとつ、しんぱいなのは、ワクチンです。どうすればいいのでしょうかね、みなさんも、きをつけてください。

どうぞ、おげんきで、おすごしてください

伊藤光江です ご無沙汰しております。  
お変わりなくお過ごしのことと拝察させていただきます。  
いつも声の図書を楽しみにして拝聴させていただいております  
ありがとうございます。  
でも、今は最悪の時期で致し方のないことと思います し方のないことと了解いたしす。  
どうぞくれぐれも御身お大切にしてください。

大阪の藤野高明です。 いつもたいへんお世話になっております。  
「声のアルバム」も楽しみに聞かせてもらっています。  
その休刊は ほんとうに残念なお知らせですが 今の コロナの状況では致し方ありませんね。 大阪、兵庫 ともにただ事ではない事態に立ち至っているとおもいます。「お休み」は全く適切なご判断だ  
とおもいます。 お互いにしっかり用心しつつ 再開できる日をゆっくり待ちましょう。



## ● ズーム関係

こんにちは。伊丹の高瀬です。皆さん。どうしてですか。お元気ですか。

(中略)

どなたか時間制限なしのズームをお持ちのかた、いらっしゃいませんか。  
提供していただいて、この日赤グループで交流会をやりましょうよ。どうですかね。

たなべです、たかせさんは、でも、おげんきそうですね、(中略)

ところで、メールのなかに、ズームの、よびかけがありました、進行を、ふくめて、座長役を、していただく方が、おられたらいいのですがね。先程、日赤の青年部の、大下さんから、メールが来ていましたが、そちらの方で、どなたか、ズームを、やられていただける方が、おられたらいいのですが、でも、今の、緊急事態宣言、20日すぎまで、延長されるみたいですので、それ以後のことですね。また足利さんにでも、相談をかけてみても、いいかもしれませんね。もうすこしがまんのとかが、いるみたいですね。では またよろしく

(川上さんより)

たかせさん、こんにちは。わたしも、ズームには、さんせいなのですが、むせいげんか、せいげんありなのか、わからないんですよねえ。どうしたら、じぶんの、アイパットの、ズームが、むせいげんか、せいげんありか、わかるのでしょうか？わたしも、ズーム、おさそいしていただけたら、はいることは、できますが、アイパットでは、ホストは、むずかしそうでした。ホストは、パソコンのかたのほうが、よいのでしょうか？  
そのあたりも、おしえていただけましたら、うれしいです。よろしくおねがいします

高瀬です。

ズームの利用時間は、ミーティングを作成されるかたが、有料契約をしているか、契約なしで無料のを利用しているかで決まります。参加されるかたがどうのという事はありません。

有料契約をされている場合に時間制限なしになります。

無料だとだれでも手順を踏めば作成できます。(中略)

どこかに制限なしのがないですかね。

でも、ズームにしたら、おしゃべりが少なくなるかもしれませんね。

その時は、川上さんのハーモニカでも聞かせてもらいましょうか。

(田邊さんより)

高瀬さんの言うとおりのズームは、すこし、ややこしいかもしれません。ただパソコンでさえできれば、お金はあまりいらぬとおもいますが。私は、できれば、電話会議のほうが、やりやすいかもしれません、ただ、電話会議の場合、例えば、料金の設定に問題があります。そのへんは、気をつけないと、高くつくかもしれませんね。私は、どちらも体験していますが、電話会議のほうが、ききとりやすいですし、各障がい者の方は、電話がいいとは、思いますよ

こんばんは。高瀬です。

なんだか具体的になってきましたね。そうですね。Zoomの年間契約は2 蔓延だそうですね。Zoomが利用できるのは、パソコンとスマホ、アイパッドはもちろんですが、電話でもできます。固定電話、携帯電話、スマホの電話のどれでも可能です。ただ、かけ放題になっていなければ、電話料金が大きくなります。

私は電話会議のシステムを利用した事がないので判りませんが、Zoomが40分で切れても、もう一度、同じ操作で入りなおせばいいだけです。知り合いで聞こえにくいかもしれませんが、イヤホンで聞いています。

まあとにかく、時間制限なしが利用できればいいですね。

かわかみゆうこです。たかせさん、たしかに、Zoomのほうが、おとは、よいかもしいですねえ。わたしは、Zoomと、プラスチックカンパコーン、りようしています。どなたかも、いわれていましたが、しかくしょうがいしゃには、でんわかいぎしすてむのほうが、つかいやすいと、いわれていましたねえ。わたしは、こじんてきには、Zoomのほうが、よいです。40ぶんで、きれたら、また、はいりなおす、たかせさんのいわれるとうりです。でも、できたら、ゆうりょうで、つかわれておられるかた、みつかるとういですねえ。でも、につせきの、だんいんさんがたで、8がつくらいに、こうりゅうかいの、ことをきめる、かたがたがきまり、そのかたたちが、こうりゅうかい、どんなふうにするか、きめられるときいたこと、ありました。ここで、はなしていることが、きいていただけたら、ありがたいのです

(田邊さんより)

川上さんありがとう、みなさんは、いろいろとわかりにくいこともあるかと、思いますので、どなたか、説明もかねて、仕切っていただける方が、おられればいいのですがね。

私は、高瀬さんか、足利さんではと、と思いますがいかがですか。どちらにしても、お声をききたい方が、たくさんおられるとは、思いますので、今月には無理では、ないのではないかと、私は思いますよ。あつかましいですが、日赤の方で、企画していただければ、いいのですがね。またみんなで、ちえを、だしあいましょう。

あしかがさん、おいそがしいなか、メールいただき、ありがとうございます。

につせきのこうりゅうかい、できれば、Zoomかいさいが、うれしいですが、いまは、5がつにはいったばかりですし、8がつくらいまで、コロナの、ようすみつつ、につせきのかたがたに、ゆだねさせていただきたいとおもいます。あしかがさんをはじめ、ほかの、だんいんさんも、おからだには、きをつけてくださいねえ。かわかみゆうこでした。



**編集後記**：原稿をお寄せくださった方々、本当にありがとうございました。活動は休止中ですが、皆さんの熱い思いを共有することができたと思います。また、今回から「声のアルバム」の各プログラムの紹介がはじまりました。お楽しみください。

リスナーさんの思いも何とか実現できるといいですね。